

各文字が表わす子音の発音は以下の通りです。ポイントに注意しながら、各文字について a, i, u の母音をつけた音節と子音で終る音節を発音してみましょう(例: ba, bi, bu, eb)。

独立形	音価	転写	声	調音位置	調音方法	発音のポイント
ا	-					音価はなし。長母音 [ā] の表示、タンウィーン [an] の添え字、ハムザ [ ' ] の支え、動詞複数形の語尾などに用いられる。
ب	[b]	b	有声	両唇	閉鎖音	bara (バラ) における b の音。
ت	[t]	t	無声	歯茎	閉鎖音	tako (たこ) における t の音。母音 i, u が後続する場合、チ・ツにならないように。
ث	[θ]	θ	無声	歯間	摩擦音	英語の three における th の音。歯と歯の間に舌を当てる。
ج	[dʒ]	j	有声	後部歯茎	破擦音	jari (じゃり) における j の音。
ح	[h]	ħ	無声	咽頭	摩擦音	手を温めるために、喉の奥から「ハーッ」と息を吹きかける感じで発音する。
خ	[x]	x	無声	軟口蓋	摩擦音	ドイツ語の buch における ch の音に近い。喉の上部を震わせて、うがいをするような音。
د	[d]	d	有声	歯茎	閉鎖音	dai (だい) における d の音。
ذ	[ð]	ð	有声	歯間	摩擦音	英語の the における th の音。
ر	[r]	r	有声	歯茎	震え音	日本語のラ行とも英語の r と違う、巻き舌の r 音。歯茎のあたりで、1, 2回舌を震わせる。
ز	[z]	z	有声	歯茎	摩擦音	goza (ござ) における z の音。母音 i が後続する場合、ジにならないように。
س	[s]	s	無声	歯茎	摩擦音	saru (さる) における s の音。母音 i が後続する場合、シにならないように。
ش	[ʃ]	š	無声	後部歯茎	摩擦音	shashin (しゃしん) における sh の音。
ص	[sʷ]	ṣ	無声	歯茎	軟口蓋化 摩擦音	強勢音と呼ばれるアラビア語特有の4子音の一つ。これはsの強勢音。強勢音は、舌の根元を押し上げ緊張させながら、各音(この文字では s 音)を発音する。また後続の母音 a, i, u を、それぞれ o に近い a, e に近い i, o に近い u にするとよい。
ض	[dʷ]	ḍ	有声	歯茎	軟口蓋化 閉鎖音	d の強勢音。舌の根元を押し上げ緊張させながら、d 音を発音する。

独立形	音価	転写	声	調音位置	調音方法	発音のポイント
ط	[tʰ]	ṭ	無声	歯茎	軟口蓋化閉鎖音	t の強勢音。舌の根元を押し上げ緊張させながら、t 音を発音する。
ظ	[ðʰ]	ẓ	有声	歯間	軟口蓋化摩擦音	古典語では d (有声歯間摩擦音) の強勢音とされているが、現代語では z (有声歯擦音) の強勢音として発音されることが多い。舌の根元を押し上げ緊張させながら、d / z 音を発音する。
ع	[ʕ]	ʕ	有声	咽頭	摩擦音	ħ の有性音。アラビア語特有の音で、喉の奥をすぼめて絞り出す。
غ	[ɣ]	ġ	有声	軟口蓋	摩擦音	x の有声音。いびきもしくはうがいの音。
ف	[f]	f	無声	唇歯	摩擦音	fish における f の音。
ق	[q]	q	無声	口蓋垂	摩擦音	k 音よりも喉の奥で発音する。
ك	[k]	k	無声	軟口蓋	閉鎖音	kasa (かさ) における k の音。
ل	[l]	l	有声	歯茎	側面音	英語の laugh における l の音。
م	[m]	m	有声	両唇	鼻音	maru (まる) における m の音。
ن	[n]	n	有声	歯茎	鼻音	nasu (なす) における n の音。
ه	[h]	h	有声	声門	摩擦音	hana (はな) における h の音に近い。ただし母音 i, u が後続する場合、日本語のヒ、フとはやや違い、喉の奥の方から音を出すようにする。
و	[w]	w	有声	両唇	接近音 (半母音)	wani (わに) における w の音。ただし母音 i が後続する場合、単なるイではなく、ウィに近い音になることに注意。
ي	[j]	y	有声	硬口蓋	接近音 (半母音)	yama (やま) における y の音。
ة	[t]	t	無声	歯茎	閉鎖音	音価は t と同じ。ただし、文末など発音が途切れる (休止する) 部分では、この t 音とそれに続く語末母音は発音されない。
ء	[ʔ]	ʔ	無声	声門	閉鎖音	声門を閉じて開く時に発せられる音。はぎれよく「ア・ア・ア」と発音するときの最初の子音。